

【電気学会論文誌D(産業応用部門誌)「回転機技術特集号」の論文募集について】

産業応用部門論文委員会
回転機技術委員会

論文誌D(産業応用部門誌)では平成21年(2009年)11月号に「回転機技術特集」を企画しています。特集号では、回転機研究会(合同研究会を含む)などで発表された論文を特集論文としてまとめて掲載いたします。研究会における質疑やコメント等の討議結果を参考に、論文投稿の手引きに従った論文として完成させていただき、奮ってご投稿ください。なお、査読の関係や応募件数多数などの都合で特集号に掲載できない論文は、一般論文として取り扱われますので、予めご了解ください。

記

投稿締切：平成20年(2008年)12月22日(月)

投稿方法：<https://submit.iee.or.jp/D/cgi-bin/sstk-top.cgi>より電子投稿してください。電子投稿ができない方は、電気学会会誌編修課D部門誌特集論文受付係に郵送してください。

注意事項：投稿票への必要事項の記入に加えて、回転機研究会で発表された論文の場合は「D部門誌平成21年11月号回転機研究会特集号，研究会論文番号(RM- -)」を記してください。

問合せ先：山崎克巳

千葉工業大学電気電子情報工学科

電話：047-478-0373，FAX：047-478-0379

E-mail：yamazaki.katsumi@it-chiba.ac.jp

以上

編集後記

後記を書いているこの時期は、四国地方では梅雨が明けた頃です。例年ですと、梅雨入りの頃に9月号の編修作業を行っていたのですが、「より早く!」、「タイムリーな情報を!」という編集広報委員全員の思いから、関係者方々のご理解とご協力を賜り、発行までの期間を少しずつ短縮しています。

さて、今月のニュースレターの巻頭では、6月に就任されました玉井伸三新編修広報委員長より「産業応用部門の編修広報」と題し、編修広報の現状と課題についてご執筆いただきました。なかでも、「より早く!」、「もりだくさん広報する!」という手段として、ホームページの活用を検討され、紙版との違いを明確にされています。

また、「タイムリーな情報を!」という事で、資料コーナからは、6月に起きた岩手宮城内陸地震を受け、「緊急地震

速報」について、(株)日立製作所の富樫一顯氏にご紹介いただきました。どのようにして速報が出るのか、そのメカニズムや特徴など、興味深い内容になっております。ただ、残念ながら、実際に速報が間に合わなかったところもあり、万全を帰す改善策を、早急に講じる必要がありそうです。

学会情報からは、5月にソウルで開催されたWCRR2008(鉄道研究の国際会議)について、(財)鉄道総合技術研究所の小林武弘氏よりその盛況ぶりをご報告いただきました。その他、委員の公募や論文募集記事など、今後も積極的に掲載していきたいと思っております。

最後に、ご多忙中にもかかわらず原稿を執筆していただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。

エディタ 野田 幸宏(東洋電機製造)